

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「キラーズ・キラ」

テーマ：「目の前にいるのに、存在しない美少女」

キャラクター

40

ストーリー

35

テーマ(設定)

40

文章力

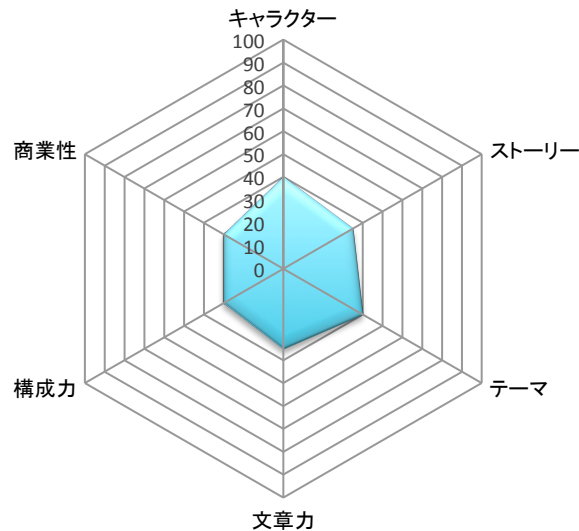
35

構成力

30

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語が都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

- ・「なんでこの登場人物はこんな行動をしているんだろう」という場面が多く見られた。都合展開が多過ぎる(キラーズキラの性格にも一貫性がなく、物語の進行に合わせて都合よく振じ曲げられているイメージ。)
- ・物語の展開が早い。恐らくではあるが、この小説は書かれるときにプロットがない状態で書かれているのではないかと。もしそうであるならば、作品を書く前に一度簡単な起承転結と、それに合わせた簡単なキャラクターの性格を決めておくだけでこれらの問題点はほとんどが解決されると思われる。

合計加点ポイント: 0

総得点: 210 / 600

B方式総合得点: 7350 点